

平成24年1月

新年度における市政方針について

1. 景気・市財政の動向

国内の経済情勢は、東日本大震災などの影響から非常に厳しい状況が続いている。併せて、欧州の信用不安を一因とする円高、国内市場の閉塞感による景気低迷は、国内経済、更には地域経済にも深刻な影響を与えている。これを受けて、新年度の一般会計予算の規模は、歳入の根幹である市税を平成23年度当初予算の208億円からやや減と見込んでいる。しかしながら、地方交付税などの確保を見込み、概ね平成23年度の一般財源総額を確保できる見込みである。

2. 新年度予算の編成に向けて

新年度予算の編成方針は、懸案となっている桑名市総合医療センター建設に向けた事業が本格化することから最優先の事業と位置付けている。経常経費では、次代を担う子どもたちが健やかに育てられる環境整備の一助となる医療費助成制度の拡大やセーフティネットとしての生活保護費など扶助費の一層の増加が見込まれることから、経常的経費は、その一部について対前年度マイナス10%とするなどの予算枠を設け節減を図るとともに、自主財源の確保に努めることとした。

また、総合計画後期基本計画の策定に伴い、各事業を総合計画の単位施策、基本事業に体系化し、事業の「選択と集中」を図りつつそれぞれの指標を伸ばすことを目標に事業の推進を図ることとする。

3. 平成24年度実施予定事業

(1) 安全・安心なまちづくり

①防災計画の見直し、ハザードマップの作成・充実

東日本大震災を受け、国・県の防災計画の見直しに伴い、桑名市防災計画で定める津波予防対策・避難計画の見直しやハザードマップの改定に取り組み、さらなる対策強化を図る。

②市役所庁舎耐震事業

平成23年度から進めている市役所本庁舎の耐震工事については、プロポーザルによる設計施工業者決定を予定している。

平成24年度は、実施設計を予定し、平成25・26年度の2カ年で工事を実施する予定である。

③幹線道路の整備

・坂井多度線

(仮称)新観音橋の橋梁完成を経て、平成24年度中の供用開始を目指す。

・蛸塚益生線

養老線高架橋の上部工を進める。

(2) 人にやさしいまちづくり

①桑名市民病院再編統合

平成23年12月2日に地方独立行政法人桑名市民病院、医療法人山本総合病院及び桑名市との三者において基本合意書を締結した。

今後、4月1日の再編統合に向けた手続きについては、統合に向けた具体的な条件について3者間で成案を得た上で、桑名市議会において予算・条例などの関連議案の議会審議を経て、地方独立行政法人定款や地方独立行政法人の経営の基本となる中期目標・中期計画の変更などを行う。24年度は、新病院の建設に向けた設計業務などの予算を計上。

②子ども医療費助成の拡充

子ども医療費助成については、平成23年10月から市単独事業として、入院について中学校卒業までとする助成拡大を実施した。

「小学校6年生までの入院通院を対象とする助成拡大を平成24年9月から予定し、県制度拡大に合わせて保護者の負担の軽減を図る。」

③予防接種（成人肺炎球菌）

感染症予防対策として、昨年に引き続き、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種事業を実施する。

また、新年度より、高齢者の肺炎などの感染症予防に効果のある成人用肺炎球菌ワクチンの補助制度を創設する。

（3）元気なまちづくり

①陽だまりの丘複合施設整備事業

陽だまりの丘教育等施設用地を活用して、生涯学習機能と子育て支援センター機能を併せ持つ複合施設の整備を行う。

新年度は建設工事の着手を予定している。

②総合運動公園整備事業

平成19年度から施工しているサッカー場のメイングラウンド人工芝の整備を行う。H25

③住宅リフォーム促進事業

地域経済の活性化を図るため、居住用として所有する住宅のリフォームに対し助成を行う。

（4）魅力あるまちづくり

①多度大社多度峡周辺修景整備事業

「資源に包まれ、伝統が息づく、癒しの里づくり」を大目標に多度を訪れる来訪者のための利便施設の充実、適切な環境整備を計画的に行う。

平成24年度は、大社前公衆用トイレ及び防火水槽の整備と昨年に引き続き、参道の街路灯整備を予定している。

②舟運復活支援事業

川と街道は本市の地域（観光）資源であり、新たな魅力の創出として地元事業者や名古屋地域との連携を図り、地域イベント時に併せて実施するとともに地域活性化を目指して舟運の復活を支援する。

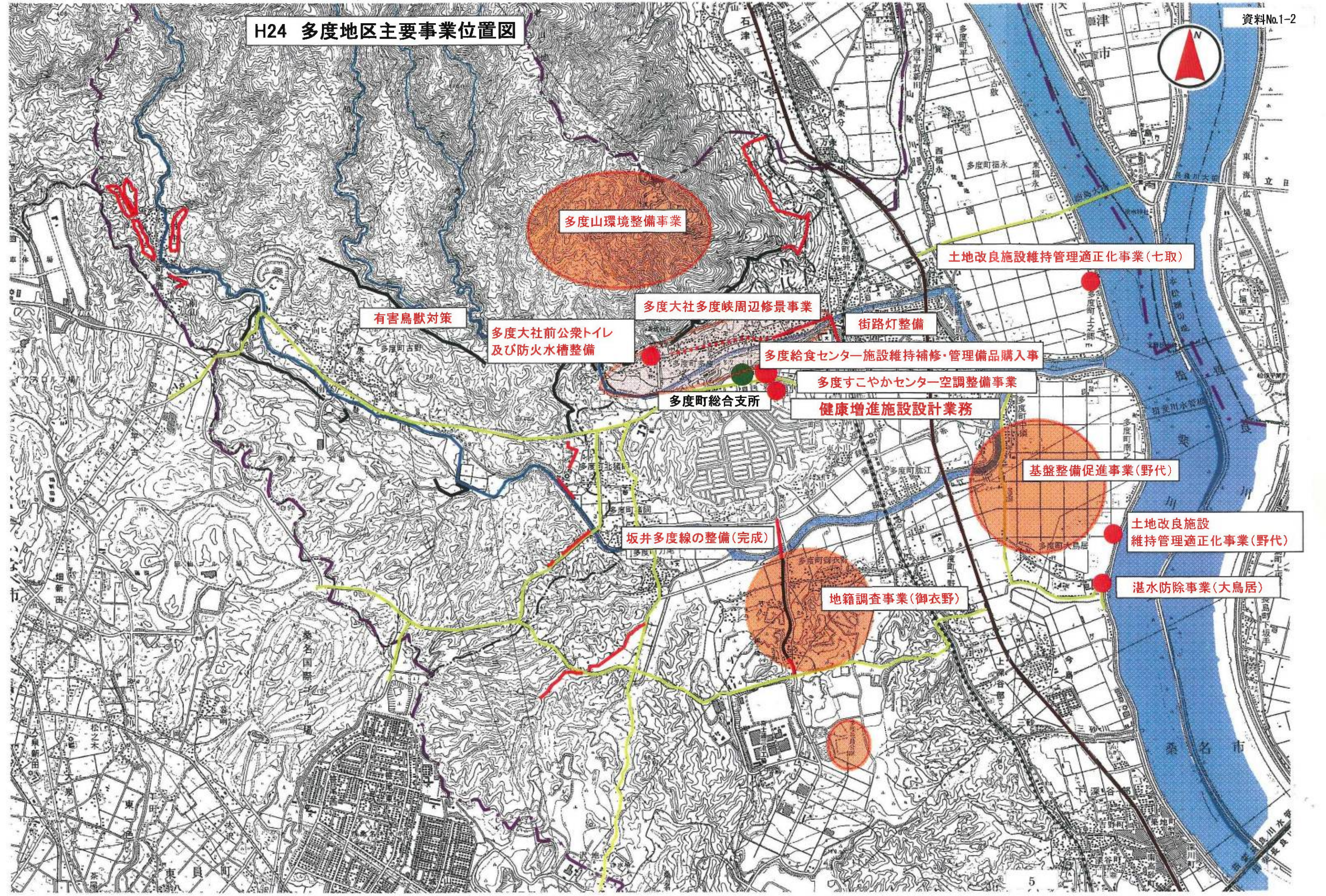
③桑名駅西土地区画整理事業

仮換地指定に伴い、建物移転補償を進めるとともに、先行建設街区、駅北地区の整備工事を実施する。

多度地区主要事業

- ・健康増進施設設計業務委託
- ・坂井多度線（再掲）
- ・多度すこやかセンター空調整備
- ・多度給食センター施設維持補修・管理備品購入事業
- ・有害鳥獣対策
- ・基盤整備促進事業（野代）・湛水防除事業（大鳥居）
- ・土地改良施設維持管理適正化事業（七取・野代）
- ・地籍調査事業（御衣野地区）
- ・多度大社多度峡周辺修景整備事業（再掲）・多度山環境整備

H24 多度地区主要事業位置図



多度山環境整備事業

土地改良施設維持管理適正化事業(七取)

有害鳥獣対策

多度大社多度峡周辺修景事業

街路灯整備

多度大社前公衆トイレ
及び防火水槽整備

多度給食センター施設維持補修・管理備品購入事

多度すこやかセンター空調整備事業

多度町総合支所

健康増進施設設計業務

基盤整備促進事業(野代)

坂井多度線の整備(完成)

土地改良施設
維持管理適正化事業(野代)

地籍調査事業(御衣野)

湛水防除事業(大鳥居)

地方独立行政法人桑名市民病院と 医療法人山本総合病院の再編統合

1. 桑名地域における地域医療体制の再構築

平成 21 年 10 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日	平成 27 年度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 桑名市民病院の一般地方独立行政法人化 ・ 平田循環器病院と統合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山本総合病院と統合 ・ 本格的な 3 病院での一体化運営に向けた準備期間 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病床 400 床前後の中核病院の建設 ・ 建設場所は、現在の山本総合病院とその付近である桑名市寿町地内

①事業の譲渡日（再編統合）（平成 24 年 4 月 1 日）

○法人の名称

現 在	平成 24 年 4 月 1 日以降
地方独立行政法人 桑名市民病院	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

○病院の名称

現 在	平成 24 年 4 月 1 日以降
桑名市民病院	桑名西医療センター
桑名市民病院分院	桑名南医療センター
山本総合病院	桑名東医療センター

②新病院建設までのスケジュール（案）

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
・新病院基本構想、基本計画					
・事業の譲渡日		4.1 再編統合			
・新病院基本設計、実施設計					
・新病院建設工事					
・医療機器の整備					
・電子カルテシステムの導入					
・新病院の開院					予定

③再編統合及び新病院整備に係る全体事業費及び財源

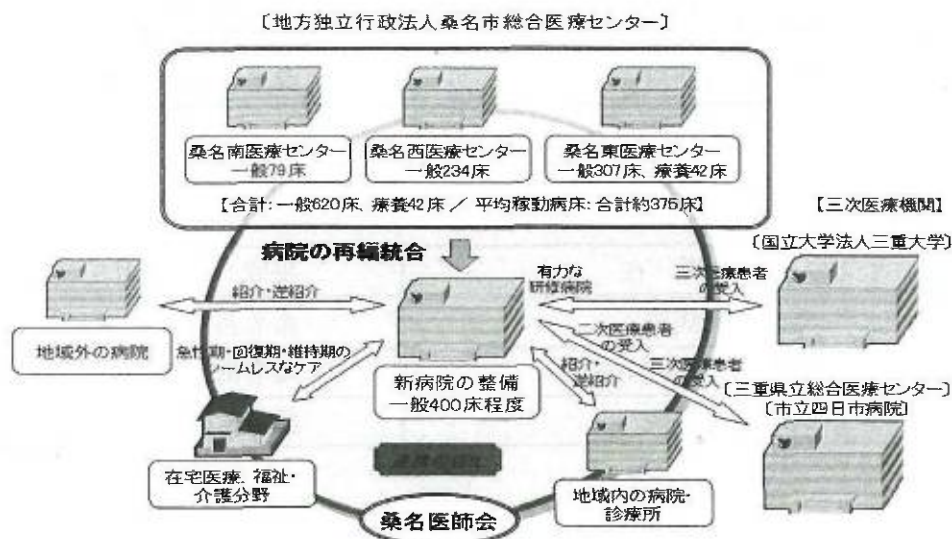
○再編統合及び新病院整備に係る全体事業費…………… 約106億円

○地域医療再生臨時特例交付金…………… 約26.7億円

○地方債（合併特例債、病院事業債）…………… 約65.8億円

○一般財源…………… 約13.5億円

④新病院整備後（平成27年度以降）のイメージ図

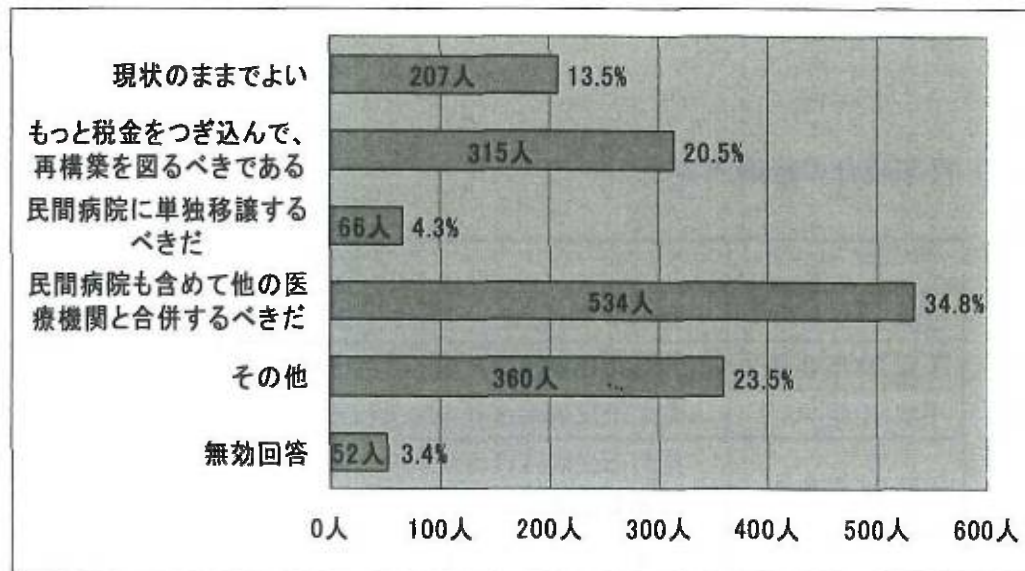


○ 桑名市民の地域医療に関する意識調査（平成 21 年 9 月）

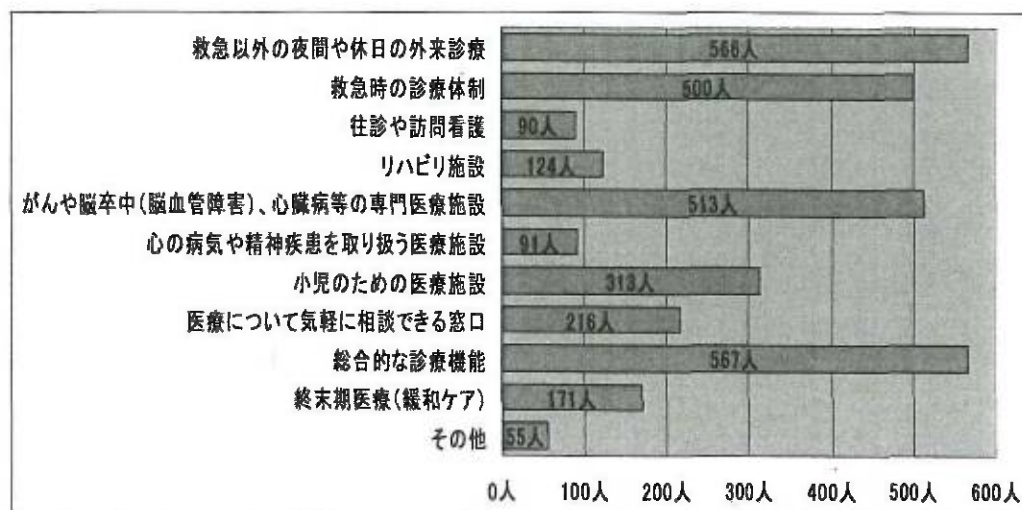
・ ランダムに抽出した桑名市民 3,000 人を対象、1,534 人から回答

〔回答率：51.13%〕

【桑名市民病院のあり方について】



【桑名市民病院で今後整備してほしい医療サービス】



○ 地域医療提供体制部会による提言書（平成 23 年 2 月）

- ・ 桑名市における二次医療を提供する上で基幹となる病院がないこと、及び医師不足が顕著なことである。
- ・ その課題を解決するために最も有効な方策は、桑名市民病院と山本総合病院が再編統合することである。

○ 再編統合の経過内容

年 月	経過内容
平成 18 年 8 月	・ 桑名市民病院あり方検討委員会答申
平成 20 年 2 月	・ 桑名市民病院は再編統合先候補として山本総合病院を選択
平成 21 年 10 月	・ 桑名市民病院を地方独立行政法人化、平田循環器病院と統合
平成 22 年 9 月	・ 桑名市民病院の再編統合と地域医療の充実にに関する決議の提出 (桑名市議会)
平成 23 年 1 月	・ 再編統合に関する確認書の締結 (両法人、桑名市)
平成 23 年 2 月	・ 地域医療再生臨時特例交付金 (拡充分) を県へ申請
平成 23 年 11 月	・ 三重県から地域医療再生基金額の上限額の提示 (26.7 億円)
平成 23 年 12 月	・ 基本合意書の締結 (両法人、桑名市)
平成 24 年 1 月	・ 事業譲渡契約書の締結 (両法人、桑名市) (予定)

多度地区地域審議会 資料（担当 健康づくり課）

議題（1）市民病院再編統合計画と健康増進施設建設の遅延について

①市民病院再編統合優先のため健康増進施設の建設が遅延されていますが、市民病院再編統合計画と進捗状況

計画概要

桑名市民病院統合計画と進捗状況について

再編統合計画については、昨年12月2日に桑名市、桑名市民病院、山本総合病院との3者の間で基本合意書の締結を終えている。

基本合意書の締結により、今月の臨時議会では、譲渡価額、地方独立行政法人桑名市民病院定款の変更及び地方独立行政法人桑名市民病院中期目標の変更について、議決を経たところである。

現在、桑名市民病院において、市長が地方独立行政法人桑名市民病院へ指示をした中期目標に対し、中期目標を達成するための中期計画の作成を行っている。

また、桑名市、両病院は、4月1日の再編統合に向けた取組みを着実に進めている。

平成24年度の進捗予定

- ・平成24年4月1日病院統合（事業譲渡日）
- ・昨年度に引き続き、新病院の基本構想・基本計画を策定
- ・基本構想・基本計画策定後、新病院の設計

- ・平成25年度 新病院建設事業を着手
- ・平成27年度 新病院オープン予定

多度地区地域審議会 資料 (担当 健康づくり 課)

議題 (1) 市民病院再編統合計画と健康増進施設建設の遅延について

②市民病院再編統合完了後、延期されている健康増進施設の建設再開に向けた年次計画をお示してください。

なお、伊勢湾沖を震源とする大規模地震発生が危惧されており当地域においても老朽家屋の倒壊や低地での液状化による被害が予想されます。健康増進施設建設計画に災害時の避難所としての機能を追加するよう施設設計の見直しをご検討ください。

計画概要

健康増進施設は、合併時の重点課題としての認識はもとより、市民の皆様の健康づくりの支援のための拠点とするとともに、地域活性化にも寄与する施設として、多度地区における重要な施設であるとの考えに変わりはない。

厳しい財政状況ではあるが、早期建設に向け取り組んでいる。

また、指摘のとおり、健康増進施設を避難所とし、防災機能を持たせることも重要な課題であり、避難生活の改善につながるような施設としていくよう検討していく。

平成 24 年度の進捗予定

健康づくり機能及び防災機能を有する施設として、規模や設備内容等の見直しを行い、早期建設に向け取り組んでいく。

3月 設計予算

多度地区地域審議会 資料 (担当 地域振興課)

議題(2) 多度山周辺環境整備について

①大社前街路灯整備事業、多度峡周辺整備事業、多度イヌナシ自生地再生事業のそれぞれの進捗状況とH24年度事業計画についてお伺いします。

計画概要

① 大社前街路灯整備事業

平成23年度から26年度までの4年間で55基(現場状況により増減の可能性あり)の街路灯を整備予定

② 多度大社前公衆トイレ建築(地下式防火水槽整備 40 m³)

男子 大1 小4

女子 4

多目的 1

進捗状況及び平成24年度の事業計画

平成23年度

- ・多度大社前公衆トイレ整備に伴う測量設計業務、多度大社前より多度駅までの間の街路灯整備に伴う全体測量設計
- ・多度大社前周辺及び多度駅前の街路灯整備(2灯式を大社前付近3基、駅付近2基)を年度内完成

平成24年度

多度大社前公衆トイレの整備(防火水槽を含む)

街路灯整備(1灯式を多度駅より多度大社方面へ)15基を予定
(24年度からの継続事業)

多度地区地域審議会 資料 (担当 文化課)

議題(2) 多度山周辺環境整備について

①大社前街路灯整備事業、多度峽周辺整備事業、多度イヌナシ自生地再生事業のそれぞれの進捗状況とH24年度事業計画についてお伺いします。

計画概要

「多度のイヌナシ自生地」は、3,000㎡ほどの中に46本のイヌナシが生育している。平成16年度から保全活動を市民ボランティアや地元のNPO法人などと協働で行い、平成22年8月5日に国の天然記念物に指定されている。自生地内に見学者のためのガイド施設などを整備していき、イヌナシの天然更新の実現にむけて今後も保全活動を継続して行っていくほか、周辺の生態系を含めた、保全のための調査を実施していく。

進捗状況及び平成24年度の事業計画

平成23年度の事業としては、自生地内に案内看板および標柱の設置を行った。また、4月の花を見る会が雨天のため中止となったが、11月12日に50名の参加者を集めて保全活動を行った。

平成24年度も4月に花を見る会、10～11月に保全活動を予定している。

多度地区地域審議会 資料 (担当 地域振興課)

議題 (3) 獣害対策の推進強化

① H23年度の被害状況と事業の進捗状況

被害状況

アンケート調査結果 (2011.8実施 過去1年間対象)

対象地域 柚井・多度・小山・小山台・北猪飼・猪飼・力尾・御衣野・古野・美鹿

回収率 43.2% (854/1985世帯)

シカ・イノシシ被害

・農作物 281件 被害金額 604万円

・その他 62件 被害金額 211万円 主として 畦・垣根など

サル被害として

・農作物 704件 被害金額 1,163万円

・その他 223件 被害金額 1,556万円 屋根瓦・樋など

事業の進捗状況

多度地区獣害対策委員会 6月、7月、12月開催

地区研修会開催 古野(7月)、猪飼・北猪飼(9月)

防護柵設置説明会開催

多度(9月)、古野(10月)、柚井(10月)、猪飼・北猪飼(11月)

追払い隊編成 10地区

(美鹿、古野、北猪飼、猪飼、力尾、多度、御衣野、柚井、小山、小山台)

シカ・イノシシ対策

23年度柵設置予定場所の刈り払い 2月初旬完了予定

侵入防止柵購入・貸与 1月中旬以降納入

自治会での施工 1月～3月 7,300設置予定

4900m

多度地区地域審議会 資料 (担当 地域振興課)

議題 (3) 獣害対策の推進強化

② H24年度以降の事業計画について

事業計画概要

○個体数の調整

- ・ 猟友会への委託により、野生鳥獣駆除を推進 4月～10月
24年度有害捕獲予定数 イノシシ60頭 シカ30頭 サル10頭
- ・ 自治会の要請によりわな免許所持者に市所有の檻を貸出し、捕獲駆除を推進する

○防護柵の設置

- ・ 農作物を野生鳥獣から守るため、防護柵の設置を支援
- ・ 防護柵の購入、自治会への貸与、住民施工にて設置
- ・ 23年度に引き続き8,300mの防護柵の設置を計画

○地域ぐるみの取組

- ・ 獣害対策委員会の活動を支援（地域ぐるみで獣害対策に取り組む 10地区
美鹿・古野・猪飼・北猪飼・力尾・御衣野・多度・小山・小山台・柚井）
- ・ 追払い隊に対しての機材の支給・貸与（電動ガン・動物駆逐用煙火等）
- ・ 地区住民研修会
各地区順次開催予定（三重県農業普及センター等に講師依頼）

多度地区地域審議会 資料 (担当 地域振興課)

議題 (3) 獣害対策の推進強化

③ 被害が著しい猿害対策

現況

出没地域 柚井・多度・小山・北猪飼・猪飼・力尾・御衣野・古野・美鹿
被害アンケート調査結果 (2011.8)

・農作物被害

件数 704 件 被害金額 1,163 万円

・その他 (住居、屋根瓦、とい、車、等) 被害

件数 223 件 被害金額 1,556 万円

人慣れ度 人間の姿を見ると逃げる～追い払わないと逃げない

追い払い

職員による獣害パトロール (平日)

市民への動物駆逐用煙火やロケット花火の配布

対策

○追い払い巡回パトロール (緊急雇用創出事業)

・ 9時～15時

・ 24年度も継続予定 (季節によって巡回時間延長も検討)

○地域住民による追い払い隊の結成

・ 獣害委員会加盟 10地区にて結成 (柚井・多度・小山・小山台・北猪飼・猪飼・力尾・御衣野・古野・美鹿)

・ 電動エアガン・動物駆逐用煙火等を追い払い隊に支給、貸与

○発信器活用取組にて行動域調査

・ 追い払い、捕獲に効果的に活用

○地区住民研修会の開催

・ 住民の意識向上・・・自分達の財産は自分達で守る

・ サルについての知識向上 (捕獲処分しても解決にならない、エサ場は知らずに自分たちが作っている等)

○大規模緩衝帯設置によるモニタリング

※サルに対する即効性のある対策は全国的にもないが、市としては地域ぐるみの取り組みとして

①エサ場をなくす

②隠れ家をなくす

③追払う

の3点をサル対策の3本柱とする